

日本保健物理学会シンポジウム 執筆者の解説による ICRP Publ. 勉強会 (2016年4月25日)  
アンケート結果

○有効回答数 52 (参加者 69名、回答率：75.4%)

[1] 本シンポジウムを何で知りましたか [複数回答可]

- ① 保健物理学会 Newsletter : 26
- ② 保健物理学会 HP : 9
- ③ 放射線安全管理学会からの情報 : 4
- ④ 放射線影響学会からの情報 : 4
- ⑤ 放射線技術学会からの情報 : 1
- ⑥ 原子力学会 Newsletter : 6
- ⑦ その他 ( ) : 5

- ・ 保物学会 Newsletter が多いが、各学会からの情報で参加された方もいるので、共催、協賛団体に周知をお願いした効果が見られた。
- ・ 口コミ、紹介など、その他という方が5名いた。

[2] 今回のシンポジウムについて

- ① 良かった : 47
- ② どちらでもない : 1
- ③ 良くなかった : 0
- ④ その他・感想 ( ) : 0

- ・ 良かったという意見が圧倒的に多く、参加者には好評だった。

[3] 次回の保物シンポジウムで取り上げてほしいテーマについて [複数回答可]

- ① 保健物理学会 専門研究会、常置委員会の活動報告 : 6
- ② ICRP、IAEA 関係 : 36
- ③ 放射線安全行政の動向 : 15
- ④ 放射線の測定技術 : 21
- ⑤ 放射線の利用 : 17
- ⑥ 放射線の教育 : 9
- ⑦ 福島の現状 : 9
- ⑧ その他 ( ) : 8

海外における放射線管理体系と日本の現状の対比など  
放射線の理解  
パイロット等の被ばくと発がん性  
新しい防護の方向性を考える

- ② ICRP、IAEA 関係 に○をつけて UNSCEAR,WHO もという意見あり (1件)
- ⑦ 福島の現状 に○をつけて 東日本 と追記 (1件)

- ・ ②ICRP、IAEA 関係、を希望する意見が一番多かった。今回 ICRP 勉強会というテーマだったため、この項目に興味のある方が多く参加されたことも関係しているかも知れない。
- ・ 2番目に多かったのが、④放射線の測定技術。次に⑤放射線の利用、③放射線安全行政の動向、の順に希望が多かった。

- ・ 他の項目への希望も多数あるため、広いテーマでの開催が求められている。

[4] その他（ご自由にお書きください）：概要紹介

- ・ ためになったという意見が多数あり、アンケート結果からはおおむね好評だったことがうかがえた。
- ・ 不満な点としては、時間が足りない、資料のカラー印刷を希望、ICRP の各報告書間の整合性という観点の議論が欲しかった、専門用語や略語の説明が欲しい、という意見があった。
- ・ 発表資料 ppt の入手を望む声が多数あった。 → 公開できる資料は学会 HP に、印刷や編集を不可とした保護された pdf で公開する。
- ・ 会場に対する意見として、後方の席ではスライドが見にくいという意見が複数あった。
- ・ 学会への要望として、学会 HP の充実、今回のような ICRP 文書のポイントなどをわかりやすく解説した記事を学会 HP に掲載して欲しい、日本と国際的な動向との違いの解説を希望、真鍋論文（2014 年 11 月原子力学会誌）の検証をして欲しい、勉強会の地方開催の希望、等の意見があった。

以上